

令和2年度 第1回生駒市環境マネジメントシステム推進会議 会議録(要旨)

1 日時 令和2年7月27日(月)午後1時30分から午後3時15分

2 場所 生駒市役所 2階 201会議室

3 出席者

○生駒市環境マネジメントシステム推進会議委員

落合委員、田平委員、矢田委員、山口委員、和田委員

○事務局

竹本 SDGs 推進課長、木口 SDGs 推進課主幹、高松、鈴木、藤村

4 傍聴者数 2名

5 会議の要旨

●委員紹介

委員就任後初回の会議であるため、各委員の紹介が行われた。

●案件

(1)会長及び副会長の互選について

委員の互選により、会長に矢田委員、副会長に落合委員が選出された。

(2)令和2年度生駒市環境マネジメントシステムの実施について

事務局:以下のとおり説明。

(資料1～資料4、第3次生駒市環境基本計画(概要版)、第2次生駒市環境モデル都市アクションプラン(概要版)、生駒市 SDGs 未来都市計画)

・環境マネジメントシステムの概要説明と生駒市におけるシステムの位置づけ。環境基本条例第19条及び第24条、生駒市環境マネジメントシステム推進会議規則について説明。

・平成22年度から LAS-E 規格に基づいてシステム運用を行い、平成27年度からは独自規格による運用へと変更、さらに令和2年度からは、第3次生駒市環境基本計画、第2次生駒市環境モデル都市アクションプラン、生駒市 SDGs 未来都市計画の3つの計画に基づき運用を行う。

・令和2年度の市域における計画目標について、第3次生駒市環境基本計画、第2次生駒市環境モデル都市アクションプラン、生駒市 SDGs 未来都市計画の3つの計画における設定目標を資料2に整理した。

・計画目標を含めた、環境マネジメントシステム運用方針を作成し、各委員へ送付後、市ホームページに掲載する。

・PDCA サイクルに基づきシステムの運用を行うが、本会議は PDCA サイクルの中の C(check)点検・評価が主となる。

・エコチェック隊としての各所属へのヒアリングについて、今回は6名の委員を3グループに分け、各グループ10所属程度のヒアリングを行う。

・各計画における具体的な事業の担当所属は、令和元年度の実績と令和2年度の実績予定を調査票様式に記入を行う。また全職員向けに、日頃の環境活動への取組状況を確認するエコオフィス取組状況調査を予定している。

・今後のスケジュールについては、10月～11月にかけて第2回、第3回、第4回の会議を開催。第2回会議の10日前を目安に、各委員へヒアリングに向けた事前資料として、ヒアリング先一覧、各計画における具体的な事業についての調査票、エコオフィス状況調査の回答結果等を送付する。第2回会議から第4回会議までの各グループヒアリング実施後、会議全体で情報共有をした後、監査報告書を作成、公表。

委員：資料2の計画目標数値で例えばCO2 排出量はどのように設定されたのか。またそれをどのように市民へ周知しようとしているのか？

事務局：生駒市総合計画に倣って目標設定をしている。またCO2 排出量については、売電業者から電気を聞いているが、電力自由化に伴い業者からの聞き取りが難しくなっている。このことは内閣府でも認識はされているが、具体的な対策は示されていない。本市では統計資料も扱いながら数値の算出をしていくことも今後考えられる。また市民への周知については、広報での特集記事等も利用しながら対応していく。また数値目標だけでなく、市民一人一人の目標達成に向けた具体的な行動も示していかなければならない。

委員：エコオフィス状況調査の設問とエコチェック隊のヒアリング項目は異なるという認識でよいのか。またエコオフィス状況調査の回答をどう使っていくのか？

事務局：エコオフィスの質問とヒアリング項目は異なるものである。またエコオフィスの回答結果を所属毎に確認し、回答結果の悪い所属へヒアリングを行う、特定の項目への取組が非常に優れている場合に具体的な取組方法を聞く、といった使い方が考えられる。

委員：マネジメントシステムの市役所全体への浸透具合、効果についてはどのように考えているのか？

事務局：マネジメントシステム導入時の平成22年度より、毎日のごみの排出量、紙の使用量、ガソリン使用量等の計測を全庁的に行っていること、またエコチェック隊の継続的な実施の影響により、職員の環境意識は高まっていると思われる。また市役所での良い取組は市内事業所や、市民全体へ広まっていくように啓発していかなければいけないと考えている。

委員：エコオフィス取組状況調査の質問項目はもう少しグレードアップしたほうがいいのではないかと？

事務局：昨年度より、項目数を減らしている。また今年度から所属毎の回答結果がわかるように設定するので各所属へのヒアリング時の参考にもなる。前年度と今年度の全体での結果比較は可能である。

委員：エコオフィス取組状況調査は学校の先生へも実施するのか？

事務局：庁内のネットワークシステムは使えず、メールでのやり取りにはなるが、学校や指定管理施設も調査の対象である。

委員：資料2の計画目標において、「資源循環コミュニティステーションの設置」の項目は今までにはな

い新たな項目ということよろしいか？

事務局:SDGs 未来都市計画に同項目があるので、計画目標として新たに設定している。今年度の取組としては、担当所属が市民活動推進課に変わっている。昨年度の取組については、市ホームページに掲載している。

(3)その他

事務局より事務連絡

・今後の日程について

第2回以降の日程について、10月～11月に開催予定だが、委員の皆様には改めて後日、電話、メール等で開催候補日をご連絡させていただくので、日程調整をお願いしたい。